

102-218

問題文

数日後、肉芽が盛り上がり滲出液は減少してきた。湿潤を保持しながら創傷部周囲からの上皮化(白色期)を促進させる目的で(C)を塗布し、治癒へと至った。

	A	B	C
1	精製白糖・ポビドン ヨード配合軟膏	スルファジアジン銀 クリーム	アルプロスタジル アルファデクス軟膏
2	精製白糖・ポビドン ヨード配合軟膏	アルプロスタジル アルファデクス軟膏	スルファジアジン銀 クリーム
3	スルファジアジン銀 クリーム	精製白糖・ポビドン ヨード配合軟膏	アルプロスタジル アルファデクス軟膏
4	スルファジアジン銀 クリーム	アルプロスタジル アルファデクス軟膏	精製白糖・ポビドン ヨード配合軟膏
5	アルプロスタジル アルファデクス軟膏	精製白糖・ポビドン ヨード配合軟膏	スルファジアジン銀 クリーム
6	アルプロスタジル アルファデクス軟膏	スルファジアジン銀 クリーム	精製白糖・ポビドン ヨード配合軟膏

解答

問218：1, 2問219：3

解説

問218

褥瘡とは、同じ箇所への持続的圧力による血行不全、壊死等に伴う皮膚症状のことです。

治療は、ある程度以上の深さまで褥瘡が到達している場合には、まず外科的に壊死部分を除去します。この際、感染防止のための処置が必要です。その後治癒促進のために湿潤環境を保ちます。このために、ドレッシング剤と呼ばれるシート状の外用剤を用います。肉芽と呼ばれる毛細血管の塊が全体を覆い収縮していくことで治癒にむかいます。

以上をふまえ、各選択肢を検討すると
選択肢 1,2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが
毛細血管の新生とは、肉芽形成と読み替えてよいです。表皮でおきるわけではなく、図 ③ に示されるように、創傷部の底面から盛り上がるように肉芽が形成されていきます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
「肉芽の上に縁から表皮が進展」していつて、上皮を再生していきます。真皮に存在する細胞が増殖するわけではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
ケラチン合成は「基底層」で行われます。つまり、表皮の一部です。皮下組織ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

ちなみに、皮膚は上から、表皮→真皮→皮下組織です。表皮を更に区分した時の一番下の層が基底層と呼ばれます。

以上より、正解は 1,2 です。

問219

アルプロスタジルは、PGE1 製剤です。血流を促進し、肉芽形成、表皮形成を促進します。「上皮化の促進」とあるので、C がアルプロスタジルアルファデクスとわかります。これで正解は 1 or 3 です。

白糖とポビドンヨード配合軟膏は、滲出液吸収で用いられます。これで正解は 3 とわかります。